

ClearOne.

MAX™ IP 電話会議装置

ユーザーガイド



テクニカルサポート

電話	1.800.283.5936 1.801.974.3760
ファックス	1.801.977.0087
電子メール	tech.support@clearone.com

MAX IP ユーザーガイド

CLEARONE PART NO. 800-158-301 2006 年 1 月 (バージョン1.0)
米国特許： **D499,392**

© 2005 ClearOne Communications, inc. All rights reserved.
本書の一部または全てを、ClearOne Communicationsの書面による事前許可なく、いかなる形式や方法によっても複製することを禁じます。印刷：アメリカ合衆国。特権は全て ClearOne が保有します。本書の記載内容は予告なく変更されることがあります。

MAX IP ユーザーガイド

MAX IP電話会議装置の開封と設置

MAX IP電話会議装置の開封と設置に関する詳細は、MAX IP管理者ガイドに記載されています。

キーパッド機能

キー	機能概要
	このキーを押して装置を起動し、ダイヤルトーンにアクセス可能にします。キーをもう一度押すと電話が切れ、スタンバイモードになります。三者通話の設定中に留守番電話メッセージにつながったり、話し中の場合、このキーを押してその回線を外すことができます。
	このキーを押して保存された電話番号をダイヤルします。キーを2秒間押さえると、編集モードになります。(注意：三者通話中に保存番号を使用することはできません。)
	1回押すと前回の番号をダイヤルします。キーを2秒間押さえると、プログラムモードになります。
	コール中に1回押すと最初の回線が待機状態になり、その次の回線とダイヤルトーンがアクティブになります。この2番目の回線で当事者との接続を確認した後、もう一度押して三者通話を開始します。
	キーを押すと待機中の回線がアクティブになります。三者通話以外の場合は、このキーで回線1と2の切り替えが可能です。三者通話中にこのキーを押すと、回線1と2が待機モードになり、もう一度押すと待機モードが解除されます。
	キーを1回押すと、入力した最後の数字が取り消されます。押さえると、入力した数字がすべて取り消されます。このキーを押してプログラミングを終了します。
	通話中にこのキーを押して音量を調節できます。呼び出し中またはStandby (スタンバイ) モード中に押すことで、呼び出し音を調整できます。
	通話中に押すとマイクが消音状態になります。もう一度押せば消音モードが解除されます。呼び出し中に押すと、呼び出し音が消音状態になります。

図 1 MAX IP キーパッドの機能

LCD ディスプレイ

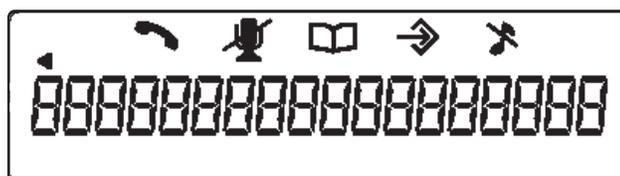


図 2 MAX IP LCDディスプレイ

MAX IP電話会議装置の使用方法

次のセクションでは、MAX IP電話会議装置の使い方を説明します。

電話をかける

1. ON/OFF (オン/オフ) キーを押して電話会議装置を起動してください。ダイヤルトーンが聞こえます。
(装置がアクティブになると電話アイコンと回線状態が表示されます。(図3参照)) 回線状態は、ディスプレイの右端に表示されます。「1」は回線番号 1、「2」は回線番号 2 を示しています。現在の回線状態は「c」-接続済み、「i」-受信、「h」-待機、「r」-リモート待機 (相手側が待機状態) のように表示されます。



図 3 MAX IP電話アイコン

2. 通常、電話をかけるときと同じように電話番号をダイヤルします。ダイヤルした番号はLCD画面に表示されます。

→ **注意：**スタンバイモードで番号を前もってダイヤルしておき、ON/OFF (オン/オフ) キーを押して電話をかけることもできます。

ダイヤルする番号に休止を加えるには、シャープ (#) キーを押さえます。

コールの受信

1. 不特定のキーを押します (*、MUTE、VOLUME UP、VOLUME DOWN以外)。

着信コールがあると、呼び出し音が発し、LCD画面のLEDと電話アイコンが点滅します。

コールの終了

1. ON/OFF (オン/オフ) キーを押します。

呼び出し音をオン/オフ (スタンバイ) にする

1. * キーを押さえます。



図 4 MAX IP呼び出し音アイコン (オフ)

呼び出し音が鳴っているときに消音する

1. * またはMUTE (消音) キーを押すと、現行呼び出し音が消音状態になります。
→ **注意**：消音は現行呼び出し音のみに適用されます。別のコール着信時には消音されません。

呼び出し音の音量を調節する

1. 呼び出し中にVOLUME UP (音量大) か VOLUME DOWN (音量低) キーを押すことで音量を調節できます。
2. 電話会議装置がオンになっている間に VOLUME UP (音量大) か VOLUME DOWN (音量低) キーを押して音量を調節することもできます。調整後の音量で呼び出しメロディーが1回再生されます。

スピーカーの音量を調節する

1. 通話中にVOLUME UP (音量大) キーを押すと音量が上がります。
2. 通話中にVOLUME DOWN (音量低) キーを押すと音量が下がります。

ヘルプラインにアクセスする

1. スタンバイモードで0キーを2秒押さえます。このオプションは前もってプログラミングしておく必要があります。

電話番号を電話帳に保存する

1. 装置がスタンバイモード (非アクティブ) の状態で番号を入力します。
2. 電話帳アイコンとプログラムアイコンが表示されるまでPHONEBOOK (電話帳) キーを押さえます。

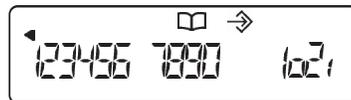


図 5 MAX IP 電話アイコン、プログラムアイコン

3. 該当する番号キーを押して電話帳の保存場所 (0~9) を指定します。
4. PHONEBOOK (電話帳) をもう一度押すと、入力した番号が保存されます。保存確認のトーンが聞こえます。
5. 5. 保存する前に電話帳の編集モードを終了するには CLEAR (クリア) キーを押してください。

電話帳を使って電話をかける

1. PHONEBOOK (電話帳) キーを押します。
2. 保存電話番号の中から、ダイヤルする番号の指定番号 (0~9) を押します。ダイヤルされる番号がLCD画面に表示されます。
3. ON/OFF (オン/オフ) キーを押して電話番号をダイヤルします。

三者通話電話をかける

1. PHONEBOOK (電話帳) キーを押します。第一者が待機状態となり、第二回線のダイヤルトーンが聞こえます。
2. 第二者の電話番号をダイヤルします。

→ **注意**：第二者の電話番号をダイヤルするときに保存番号を使用することはできません。

留守番電話メッセージにつながったり、話し中の場合、ON/OFF (オン/オフ) キーを押してその回線を外せば第一者回線に戻ることができます。

3. PHONEBOOK (電話帳) キーは3名全員の三者通話を開始するときに使用します。

三者通話中に電話会議装置を使用する

1. HOLD (待機) キーを押して両方の回線を待機モードにします。
→ **注意：**コールが待機状態の間、LEDは赤に点滅します。
HOLD (待機) キーをもう一度押すと、両回線の待機モードが解除されます。
2. 両回線を切るには、ON/OFF (オン/オフ) キーを押します。
3. 三者通話の間、いずれかの一者が電話を切ると、ビープ音が聞こえます。
残りの通話参加者はつながったままとなります。

通話中に別の電話をかける手順

1. HOLD (待機) キーを押してから、ON/OFF (オン/オフ) キーを押します。
第一者が待機状態となり、第二回線のダイヤルトーンが聞こえます。
2. 第二者の電話番号をダイヤルします。
→ **注意：**第二者をダイヤルするときに保存番号を使用することはできません。
留守番電話メッセージにつながったり、話し中の場合、ON/OFF (オン/オフ) キーを押してその回線を外し、第一者回線に戻ることができます。
3. HOLD (待機) キーを押せば、第一者と第二者の間で切り替えることができます。
→ **注意：**この方法で第二者に電話をかけた後に第一者と第二者を三者通話でつなぐことはできません。三者通話を開始するには上述のように、最初にCONFERENCE (会議) キーを押す必要があります。(詳細については「三者通話電話をかける」のセクションを参照してください)

通話中に別の着信コールを受信する手順

1. コールが着信すると（消音モードの場合を除き）呼び出し音が鳴り、LEDが緑に点滅します。
2. HOLD (待機) キーを押してから、ON/OFF (オン/オフ) キーを押してください。
第一者が待機状態となり、着信コールにつながります。
→ **注意：**着信コールに応えた後に回線を切るには、ON/OFF (キー)キーを押して二番目のコールを切り、HOLD (待機) キーを押して第一者の待機モードを解除します。
3. HOLD (待機) キーを押せば、第一者と第二者の間で切り替えることができます。
→ **注意：**着信コールに応えた後に第一者と第二者を三者通話でつなぐことはできません。三者通話は電話をかける（コール発信）ときだけ開始できます。(詳細については「三者通話電話をかける」のセクションを参照してください)

発信音とアラート

発信音/アラート	説明
確認	プログラムが正しく入力されると発信音が鳴ります。
無効	以下のいずれかを実行すると発信音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">• 無効なプログラムを入力した場合• プログラムされていない短縮ダイヤルキーを使用した場合（ワンタッチ会議またはサービスセンター）• プリダイヤル時に45桁の番号を入力した場合• ユーザーの電話番号に17桁の数字を入力した場合• 短縮ダイヤルキーに31桁の数字を入力した場合（ワンタッチ会議またはサービスセンター）

図 6 MAX IP発信音とアラート